

REGULAR

CLOSE UP

呼吸器内科

呼吸器内科
副部長あきえ けんじ
秋江 研志後列左より 打浪医師 高橋医師 楠堂医師 白枝医師
前列左より 本村医長 秋江副部長 泉副医長

当科の概要

呼吸器内科は常勤医4名で診療しています。呼吸器疾患の外来診療は一般外来、紹介患者外来を月曜から金曜まで開設し、入院患者は30名前後を担当しています。

当科の概要

当院は早期から地域がん診療拠点病院の指定を受けていることもあり、当科でも肺癌に最も力を入れて診療しております。入院患者様の大半は肺癌の内科治療（抗癌剤治療や放射線治療）のための入院です。ご存じのとおり肺癌は、国内でもがん死亡者数が最も多い疾患で難治癌の代表格です。内科だけで治療が済むことは少なく各部門が連携した集学的治療（手術や放射線治療、抗癌剤治療等複数の治療手段を組み合わせる治療すること）が必要です。当院は呼吸器内科のほかに呼吸器外科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科の各部門が充実しているのも特徴であり、密接な連携をとって患者さんにとっての最適な肺癌治療が実践できるよう心がけております。また、肺癌の新しい治療法の確立をめざした臨床試験にも参加しております。抗癌剤治療を受ける場合長期にわたって投薬を繰り返すことが多くなります。治療薬と副作用対策の進歩に伴い生活の質を維持した治療が重視されるようになり、自宅で日常生活を送りながら外来治療を受けることが可能になってきております。当科では外来での抗癌剤治療も積極的に行っております。

肺癌以外の診療対象は、外来では気管支喘息の患者さんが一番多いです。また、慢性閉塞性肺疾患の患者さんも増えています。入院患者につきましては、気管支喘息の急性増悪や慢性閉塞性肺疾患（肺気腫・慢性気管支炎）の患者さんが多く入院しています。進行した慢性閉塞性肺疾患患者の日常生活活動の向上を目指した呼吸リハビリ教育入院や在宅酸素療法の導入も実施しています。

「気管支鏡は上手な
ベテランぞろいです」

地域連携

当科では、地域連携強化のため、紹介患者さんのための専用外来を開催しております。予約なしでも対応可能ですが待ち時間緩和のためできるだけ受診の予約を取っていただくようお願いいたします。

また胸部異常陰影の患者様について胸部CTのご依頼は放射線診断科で対応していますが、明らかな腫瘍を認める等CT後に呼吸器内科の診療も必要な場合、検査予約時にその旨をお伝えいただければ検査後の外来診療をスムーズに対応できるよう調整いたします。

喘息や慢性閉塞性肺疾患等の病状が不安定となった際のご相談も対応しております。ただ再来での対応可能な人数にも限界がありますので、慢性疾患のご紹介は病状が安定してからは再度の病診連携でかかりつけの先生の御加療をお願いすることをめざしておりますので、ご協力いただければ幸いです。

「呼吸器内科病棟カンファレンス」

「肺癌カンサーボードで各科と
連携し治療方針を決めています」